

Cisco Smart Software Manager サテライト Classic

最終更新日: 2018 年 2 月



概要

[Cisco® Smart Software Manager サテライト](#)は、シスコ スマート ライセンシングのコンポーネントです。[Cisco Smart Software Manager](#) と連携してお客様の製品ライセンスをインテリジェントに管理し、お客様が購入および消費するシスコのライセンスについてほぼリアルタイムの可視性とレポートを提供します。

お客様は、さまざまなユーザ認証と暗号化パスワードによって保護された非常に安全なインターネット接続を使用して、クラウドベースの Cisco Smart Software Manager ポータルからお客様のインストール ベースを表示できます。しかし、セキュリティ上の理由によりインストール ベースをインターネットに直接接続して管理したくないお客様のために、Cisco Smart Licensing のコンポーネントとしてお客様のオンプレミス環境にインストールすることができる Smart Software Manager サテライトを提供しています。デバイスやソフトウェア製品は、Cisco Smart Software Manager の複製である Smart Software Manager サテライトに自己登録を行い、ライセンス使用をレポートします。

スマートライセンスのサテライトバージョンには、Cisco Smart Software Manager の機能のサブセットが含まれており、動作するために定期的に Cisco Smart Software Manager と通信する必要があります。お客様は、ローカル データベースとシスコ ポータルの同期を取り、最新の購入情報をローカル コピーに反映させる必要があります。この同期は、自動的に開始することも手動で開始することも可能です。自動同期のスケジュールは、日次、週次、月次に指定できます。頻度設定に応じては、サテライトのデータを日単位でポータルのように最新の状態に保つことができます。手動による同期では月に 1 回以上ファイルを転送する必要があります。この間隔が、高いセキュリティを求めるお客様にとって、インターネットから切断された状態であるエアギャップとなります。図 1 は、Smart Software Manager サテライトの導入を示しています。

Smart Software Manager サテライトは ISO として CentOS 7 とともにパッケージ化されており、次の構成が必要です。

- 200 GB のハード ディスク
- 8 GB のメモリ (MPLA が 4,000 を超える製品インスタンスをサポートする場合は 16 G)
- 4 vCPU

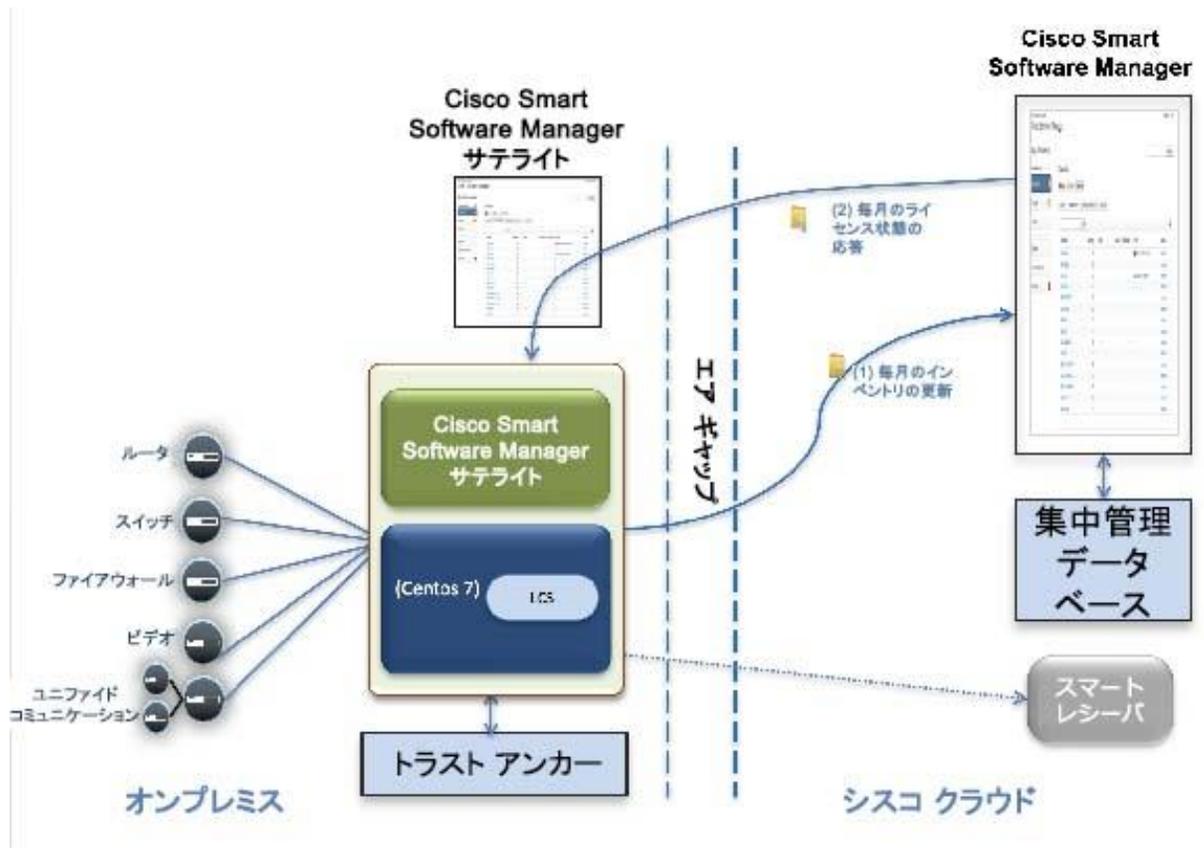


図 1. Smart Software Manager サテライトの導入

インストールが終了したら、Smart Software Manager サテライトを Cisco Smart Software Manager ポータルに登録し、このポータルと通信できるようにする必要があります。スマート対応製品は、通常の動作中に Smart Software Manager サテライトに登録し、ライセンスの消費状況をレポートします。Cisco Smart Software Manager との定期的な同期により、Smart Software Manager サテライトは、最新のライセンスの使用権と使用状況を反映することができます。Smart Software Manager サテライトは、Chrome 32.0 以降のバージョン、Firefox 25.0 以降のバージョン、および Safari 6.0.5 以降のバージョンでサポートされています。

スマート ライセンシングでは、製品を [スマート アカウント](#) に関連付ける必要があります。これは [Cisco Software Central](#) で作成できます。スマート アカウントは固有の企業 ID に関連付けられており、その顧客向けのシスコのエンタイトルメントとデバイスを含む、オンライン バンキングのアカウントのようなものです。Cisco Smart Software Manager から、企業のさまざまな下位区分または購買センターを表すサブアカウント ([パーチャル アカウント](#)とも呼ぶ) を作成できます。

利点

- 高度なセキュリティと高可用性を備えた、オンプレミスの、信頼できる唯一のライセンス使用情報源 (single source of truth)
- Smart Software Manager インストール ベースの同期スケジュールに基づいた、ほぼリアルタイムでのライセンスエンタイトルメント
- Smart Software Manager (SSM) に即座にサテライトを登録

スマート ライセンシングの利点:

- ライセンスはデバイスに対してノードロックされるのではなく、互換性のあるデバイスであれば、製品アクティベーション キー (PAK) をリホストすることなくライセンスを使用可能
- ライセンスは企業内でプールできるため、組織の境界を越えて再利用可能
- エンタイトルメントと比べて、使用されているライセンスを把握できることでコスト削減が可能
- サポート ケースを開かなくても会社全体でライセンスを転送できるため、時間の節約が可能。そのため、返品承認 (RMA) プロセスの簡素化が実現

機能

- 複数のサテライトが Smart Software Manager に接続でき、各サテライトは**最大 4,000 の製品インスタンスに拡張**できます。
- **マネージド プロバイダー ライセンス契約 (MPLA) のサポート**: 製品インスタンスから使用量に基づく測定値を集約し、評価および課金のためにソフトウェア課金プラットフォーム (SBP) に中継します。
- **ISO パッケージ**: サテライトは、次のようなさまざまなイメージ タイプとしてエクスポートできるユニバーサル ISO としてパッケージ化されています。ISO イメージを他のイメージ タイプにエクスポートする際は、お客様の責任で実施してください。シスコはサポートしておりません。
 - **OVA イメージ**。仮想マシンの圧縮された「インストール可能な」バージョンを含む、オープン仮想アーカイブ。
 - **HYPER-V イメージ**。お客様が Microsoft Windows Server 2012 の Hyper-V 仮想化ホストにインストールできます。
 - **KVM (カーネルベースの仮想マシン) イメージ**。お客様が Ubuntu および CentOS をサポートする仮想化された Linux 環境にインストールできます。
- **IPv6 のサポート**: サテライトは、IPv4、デュアル スタック IPv4 および IPv6、および IPv6 アドレッシング方式をサポートします。
- **システム セキュリティ機能の拡張**
 - CentOS Nessus 脆弱性スキャンの問題に対応済み
 - FIPS-140-2 準拠
 - すべてのシステム暗号方式を SHA-256 に更新
- **Common Services Platform Collector (CSPC) のサポート**: Multi Service Delivery Appliance (MSDA) の CSPC 仮想マシンと共存します。これにより、スマート ライセンス対応製品がこの環境でサテライトに登録できます。
- **サードパーティ ソフトウェア スマート ライセンシングのサポート**: サードパーティのソフトウェア (Unity Connection の Speech View、Unified Communication Manager の Apple Push Notification (APN) など) をサポートし、スマートライセンス対応シスコ製品によるこれらのソフトウェアのサービスの使用を許可します。
- **高可用性**: 冗長化と確実なフェールオーバーをサポートするアクティブ - スタンバイ構成により、アクティブなサテライトの障害を検知し、運用の継続性とシステムの可用性を損なわずにリカバリを実行できます。
- サテライト ユーザ インターフェイス (UI) に **デフォルトで安全な HTTPS** でアクセス: オンプレミスのサテライトへのユーザ ログインがデフォルトで HTTPS に設定されています。
- **製品インスタンスからサテライトへの自動 HTTPS 通信**: デバイスや製品は HTTPS 経由でサテライトとの通信を行う場合でも、トランスポート ゲートウェイから自己署名証明書をダウンロードして個別に設定する必要はありません。
- **サテライトを Smart Software Manager (SSM) に即座に登録**: サテライトの Cisco Smart Software Manager ポータルへの登録が、シスコ署名証明書を 48 時間待たずに即座に完了するようになりました。

- **エクスポート制御:** サテライトに接続しているスマート ライセンス対応製品で、制限付きトークンを作成し、エクスポート制御の規則(ECL)に基づいた制限付き機能を有効にできます。
- **複数のネットワーク インターフェイス:** 複数のインターフェイスを有効にして、ネットワーク管理用のトラフィックと製品インスタンスの登録用のトラフィックを分離できます。
- **ネットワーク ユーティリティ:** 使いやすいグラフィカル インターフェイスを通じてネットワーク設定とトラブルシューティングを行えます。
- **設定可能なヘッダーとフッター:** セキュリティ分類のために、サテライト UI とレポートのヘッダーとフッターをユーザが設定できます。
- **ログイン失敗のメッセージの削除:** セキュリティ上の理由から、ログイン失敗エラーメッセージを無効にします。
- **再起動/シャットダウン:** サテライトの GUI から再起動とシャットダウンを開始できます。
- **インプレース アップグレード:** システムの実行中に、自動ロールバックを使用してサテライト ソフトウェアをアップグレードし、アップグレードされたバージョンで再起動します。
- **ネットワーク ユーティリティ:** 使いやすい GUI を通じてネットワーク設定とトラブルシューティングを行えます。
- **設定可能なヘッダーとフッター:** ユーザがサテライト GUI とレポートのヘッダーとフッターを設定できるようになり、連邦政府セキュリティ分類への対応付けや、サテライトへの重要な情報のラベル付けが可能になりました。
- **製品インスタンスの登録:** Cisco Smart Software Manager サテライトから登録トークン(制限付きまたは制限なし)を作成し、製品の登録コマンドまたはユーザ インターフェイスで使用できます。
- **バーチャル アカウント リストの表示:** Cisco Smart Software Manager サテライトでは、バーチャル アカウントの表示のみを行えます(作成と削除は不可)。バーチャル アカウントの作成と管理は、[Cisco Software Central](#) のスマート アカウントの管理ページで行う必要があります。
- **同期スケジュールのセットアップ:** サテライトをバックエンド ポータルに登録したら、Smart Software Manager (SSM) で購入されたライセンスと比較し、使用中のライセンスを HTTPS 経由で同期できます。次のオプションを使用します。
 - ネットワーク同期: オンデマンドで、または日次、週次、月次などのスケジュールされた時刻にデータを同期して更新します。このモードは、Cisco.com に接続できる場合に選択します。
 - 手動同期: この切断状態のモードでは、データはファイルのダウンロードおよびアップロードプロセスによって転送されます。エアギャップ方式で Cisco Smart Software Manager と通信する場合は、このオプションを選択します。
- **バーチャル アカウントに関するレポートの実行:** レポートを実行してバーチャル アカウントの内容(エンタイトルメントと比較したライセンス数)を表示し、そのレポートを CSV または Excel ファイルにエクスポートできます。
- **ユーザの管理:** 管理者は Smart Software Manager サテライトにアクセスするユーザを作成/削除できます。この機能は、[Cisco Software Central](#) の [スマートアカウント管理(Smart Account Management)] の [スマートアカウント(Smart Account)] で作成されたユーザには影響しません。

お客様は [Smart Software Manager サテライト](#) を無料でダウンロードして、資産とライセンスを社内でローカルに管理できます。詳細については、『[Smart Software Manager satellite Installation Guide \(Smart Software Manager サテライト インストールガイド\)](#)』および『[Smart Software Manager satellite User Guide \(Smart Software Manager サテライト ユーザガイド\)](#)』を参照してください。

関連情報

スマート ライセンシングについては、http://www.cisco.com/c/ja_jp/products/software/smart-accounts/software-licensing.html を参照してください。

Smart Software Manager については、<http://www.cisco.com/web/ordering/smart-software-manager/index.html> を参照してください。

スマート アカウントについては、<http://www.cisco.com/web/ordering/smart-software-manager/smart-accounts.html> を参照してください。

Cisco Software Central については、<https://software.cisco.com/swcentral/home.html> を参照してください。

©2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2019年1月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先